

大口 司郎 議員

## Q・豊山町の豪雨対策は

## A・洪水ハザードマップ全戸配布、職員には図上訓練を実施した



Q

平成12年9月に発生した東海豪雨は、伊勢湾台風以来の大災害となり、本町も甚大な被害があった。豪雨災害からはや14年が経過したが、①東海豪雨後の対策は、近年の豪雨に生かされているか。

②防災倉庫の見直しは、総合治水対策は、現状でいいか。  
④久田良木川排水ポンプ停止の場合、志水・八反地域の浸水想定は。  
⑤境川流域での危険個所把握及び整備計画は。

A

①洪水ハザードマップを全戸に配布するとともに、注意報段階から対応し、職員に図上訓練を実施している。

②防災倉庫は、町の北部、中部、南部に設置し、資材等の持ち出しに支障はない。  
③雨水貯留施設等は、神明公園をはじめ11箇所を整備した。  
④志水・八反地区の浸水深は、今後の全体計画の見直しの中で明らかにする。  
⑤境川の転落防止柵等は、町道が狭隘(きょうあい)で道路通行機能を維持するため設置していない。また、境川の改修は現行の整備計画により完了している。



東海豪雨時の浸水状況